山紫海碧

有銘幼小中学校
学校便り147号
山紫に海碧く
H28.3.9

一年生がお招き会

三月二日（水）、小一年生が幼稚園生を教室に招いて交流する「お招き会」を開催しました。

新入生に入学の意欲と希望を持たせる。後輩を迎えて一年間を振り返り、進級の意欲を持たせる。この二つの目的でプログラムも一年生で話し合い、役割分担をして進めました。

次に、校歌を全員で上手に歌いました。

まず、ランドセルを背負って一年教室へ入室。プログラム最初は「名前をかいてみよう」「てんてんをなぞろう」で鉛筆を持ちました。

最後は、一年生による鍵盤ハーモニカでの演奏と寸劇を披露し、楽しいお招き会となりました。

幼稚園から小学校へのスムーズな接続を果たすため、お招き会などの交流活動をアプローチ・カリキュラムとよび、推進しています。一方で、小学校での生活や学習の適応を進める活動をスタート・プログラムといい、一週間ほど続きます。いずれも幼小の連携が必要です。

卒業を前にして思うこと

僕の三年間を振り返ってみたいと思います。

中学校に入学したとき、先輩方についていけるか不安でたまりませんでした。だけど先輩達は、一から優しく教えてくれました。

勉強は、特に頑張ろうとは思っていませんでしたが、部活動は、実力や身長の差があり、自分ができることを精一杯サポートしていこうと思っていました。

失敗することも多かったけれど、自分で努力したり、先輩達から指摘してもらって、ちょっとずつつていけるようになりました。

二年生に進級し、後輩ができて、先輩から教わったことを後輩に伝えようと頑張りました。

バスケットボールの地区大会では強豪チームが多く、苦しい戦いでしたが、気持ちが負けないように、怪我をしながらも最後まで走ってくれた先輩をみんなでカバーして戦い抜いて、勝つことができました。

これが僕の三年間で一番印象深い、思い出です。

三年生に進級し、有銘中の最上級生として責任を持って盛り上げていこうと思いました。

運動会では、自分から積極的に声をしたり、率先して踊るなどして、成功させようと気合いを入れて取り組みました。

当日は最初から最後まで楽しく競技や演技ができ、臨機応変に行動することができました。自分が考えていたより、みんなが楽しそうに過ごせていたので嬉しかったです。

陸上練習では、夏休みから棒高跳びの練習をして、3㍍は飛べるようになりました。

しかし、大会1週間前に怪我をしてしまい、新しく買ってもらったポールを使った練習があまりできませんでした。大会当日は、調子は悪くなかったですが、休んだ時間が長くて跳ぶことができず、記録なしに終わったのが、とても悔しかったです。

卒業前の今、僕があと悔していることは、あたりまえのことですが、部活やり運動だけでなく、勉強も一年からきちんとやっておけば良かったと言うことです。そして、遅刻や欠席が多かったことです。自分の目標をもっと早く決めて、計画を立てて生活すれば良かったと思っています。

皆さんは、一日でも早く目標を決めて、勉強に取り組んだほうがいいです。また、部活動は、諦めずに最後まで頑張ってほしいと思います。

私も、決めた目標に向かって努力していきたいと思います。

具志堅　光興

カラーセラピー教室